

# 城址の丘のまくら枕つれづれそうしの徒然草紙

文責：校長(『徒然草』(吉田兼好)より引用あり)

つれづれなるまゝに、日暮らし、パソコンにむかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかたなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。

## 3月・旅立ちは突然

唐突に告げられた臨時休業と、最も大切な式典である卒業式の簡略化。別れを惜しむ間もなく、3年生にとって、中学校最後の日はやってきた。しかし、限られた練習時間にもかかわらず、3月10日の卒業式に臨んだ82名の卒業生の態度の何と立派だったことか。残念ながら、彼らの姿を下級生や地域の方に見ていただくことはできなかったけれど、吹上中の伝統は引き継がれたと確信した。卒業生諸君、感動をありがとう。

## 4月・春は模索

4月8日に、75名の新入生を迎えて新年度がスタートしたのも束の間、3日間の登校後、再び始まった臨時休業。先行きが見えない中、作っては直し、作っては直しの教育計画。子供たちのために何かできることはないかと焦り、何もできずに時間が過ぎていくことへ無力感を覚える日々の繰り返し。しかし、そんな中でも、登校日に子供たちが見せてくれる元気な姿と笑顔に勇気をもらう。

映画『風と共に去りぬ』のラストシーンで、苦境に立ち向かう主人公がつぶやくセリフ‘Tomorrow is another day.’ある翻訳家はこの言葉を「明日に望みをたくそう」と訳した。弱気になりそうな時、自分もこの言葉をつぶやいてみる。

## 臨時休業中・ジョギングはあけぼの

臨時休業中に、生活習慣が少し変わった。[これまでより早く夕食をとるようになった。→ その分、早く寝るようになった。→ その分、早く起きるようになった。→ その分、早朝にジョギングをするようになった。・・・]

ジョギングコースの途中に錦着山がある。山頂北東の見晴らし台からは、吹上中の校舎がよく見え、気に入っている。坂を駆けのぼり、城址の丘に堂々とたつ吹中の校舎を眺めると、それまでくよくよと心に浮かんでいた由よしなし事(=些細なこと)や、あやしうこそものぐるほしい(=妙に心騒ぎがする)気持ちが消え、不思議と心が軽くなり、活力が湧いてくる。その後、南側の神社にお参りをして帰宅するのがこのところの日課だ。

正直に白状すると、これまで、神仏への願い事は、自分と家族のことが優先順位の上位を占めていた。しかし、城址の丘を眺めた後の祈りには、これまでとは違う願い事が、優先順位のトップになったことに、我ながら驚いている。

「お百度参り」という言葉がある。心と体によい上に、願い事まで成就するとあれば、しばらく早朝ジョギングを続けてみようと思う。

先日、夢をみた。

丘の上にたつ、ある中学校の校庭で、少し間隔をとって整列するマスク姿の全校生徒を前に、校長が、うれしそうに話をしている。

『学校が再開しました。こうして皆さんの顔を見られて、本当にうれしく思っています。勉強や運動は、また一緒に少しずつ頑張れば、すぐに元のペースに戻ります。焦らず努力を重ねていきましょう。それから、まだ休んでいる先生や生徒が少しいますが、じき学校に出てこられたら、お互いを思いやりながら、励まし合い、支え合い、楽しい学校をつくっていきましょう！』

話を聞く生徒の顔が微笑んでいる。先生の顔も微笑んでいる。この学校にまた、笑顔があふれ出している。

・ ・ ・ ・ ・

目が覚めた時、「夢だったのか」という落胆よりも、「そんな風景がきっとすぐに見られる。大丈夫、絶対。」という思いで、明日への希望が湧いてきた。

これまでの生活は、必ず戻ってくる。吹中生は、負けない！

#### ◇ ほんじてついでい **凡事徹底** ～当たり前前のごとを当たり前前に行うということ～

- ・ 毎朝7時前に起きること
- ・ 朝食を8時前にとること
- ・ 昼食をとること
- ・ 夕食を8時前に終えること
- ・ 日中、運動と勉強を、少しずつでいいから続けること
- ・ 毎晩11時には床につくこと

臨時休業前には、普通に行っていたことばかりだ。当たり前前の日常を取り戻す第一歩を始めてほしい。

#### ◇ **ピンチをチャレンジに！ チャレンジをチェンジに！**

今、世界中の医療関係者が、私たちの命を守るため、未知のウイルスに命がけで立ち向かっている。また、福祉、介護、保育、飲食、食料生産、製造、販売、宿泊、物流、交通、観光、レジャー、スポーツ、行政等々のあらゆる分野で、多くの人たちが、社会のしくみを支えるため、一生懸命に取り組んでいる。きっと、皆さんのお家の人の中にも、我慢や努力を重ね、皆さんの家族や生活を守ろうと、歯を食いしばって頑張っている方がたくさんいることだろう。

ところで、このウイルスに立ち向かうのは、大人にしかできないことだろうか。いや、中学生には中学生のやり方で、今までの生活を守るためにできることがあると思う。

吹中生には、今、与えられた時間を使って、何か一つでもチャレンジ（挑戦）してほしい。チャレンジを続ければ、チェンジ（変化）が必ず生まれるはずだ。運動は最初は10分間でもいい。勉強も少しずつでいい。何かを始めること、スタートラインに立つことは、それだけで価値がある。2日目にさぼってしまっても、3日目にまた始めればいい。途中でつまずいても、またやり直せばいい。あきらめなければ、人生に負けはないのだから。

負けるな、吹中生！